

第 27 回 放送番組審議会議事録

2020 年 9 月

株式会社シーエス・ワンテン

株式会社テレビ朝日

1. 開催年月日 2020 年 9 月

2. 開催場所 書面開催

3. 委員の参加

委員総数 9 名 参加 9 名

出席委員の氏名

委員長	池井 優	(慶応義塾大学 名誉教授)
委員	黒鉄 ヒロシ	(漫画家)
委員	高木 美也子	(東京通信大学 人間福祉学部教授)
委員	戸張 捷	(株式会社ランダムアソシエイツ 代表取締役)
委員	丹羽 美之	(東京大学大学院 情報学環准教授)
委員	藤田 興彦	(児童育成協会 参事)
委員	前田 純弘	(昭和女子大学グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科教授)
委員	元村 直樹	(明治大学 法学部兼任講師)
委員	四本 裕子	(東京大学大学院 総合文化研究科准教授)

放送事業者側出席者氏名

株式会社シーエス・ワンテン

代表取締役社長

福田 泉

業務推進本部長

渡辺 慎一

株式会社テレビ朝日

コンテンツ編成局総合編成部 部長

榊原 誠志

コンテンツ編成局総合編成部 担当部長

吉川 大祐

コンテンツ編成局総合編成部

熊谷 和也

スポーツ局スポーツ業務推進部

沖永 成敬

ビジネスプロデュース局 CS 事業部 部長

岡本 恵理子

ビジネスプロデュース局 CS 事業部 担当部長

谷 俊之

4. 議 題

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」、
「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」の番組について

5. 審議内容

◆テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ 番組審議

『Hello!Project presents…「ソロフェス！」 舞台裏密着特番 完全版』◆

<番組内容>

7月4日にハロープロジェクト！のメンバー総勢52名がソロパフォーマンスを行う無観客音楽ライブ『Hello!Project presents…「ソロフェス！」』を5時間にわたって放送。多くのファンから支持され、テレ朝チャンネルの単月での新規加入者の記録を塗り替えました。

その翌月、7月20日にBSスカパー！で放送された「Hello!Project presents…『ソロフェス！』 舞台裏密着特番」に未公開映像を加えた完全版として本番組を放送しました。

新型コロナの影響で、音楽ライブの中止が相次ぐ中、放送した無観客音楽ライブ「ソロフェス！」はハロプロファンから多くの反響を得ました。本番組は、「ソロフェス！」を観た方のための番組で、メンバーの本番に向けての試行錯誤、舞台裏でのインタビューなどが収録された ハロプロジェクトメンバーの魅力をコンパクトに詰め込んだプログラムです。反響があったソロフェス本編は長すぎたため、こちらを審議対象にさせていただきました。

9月には「ソロフェス」で優勝した川村文乃を中心としたアンジュルムが無観客でライブパフォーマンスを披露する番組の放送を予定しており、さらなるファンのライブを求める声に応えます。

<委員からの意見>

- 通常はチーム活動が中心のグループがソロで競い合い、メンバーの個性の見える企画だった。
- 夢のためにそれぞれが必死にパフォーマンスを行い、努力している姿が清々しかった。
- 番組を見て SNS でファンがパフォーマンスを評価し盛り上がり、ネットとうまく連携できていた。
- 音響機器が並ぶ様子やスタッフが後ろを横切る様子などもライブ感を伝えており、「作り物」でない良さが伝わった。
- コロナ禍で活動が制約される中、ファンとどうつなげていくかということで生み出されたものと思うが、その企画の意図や苦労も聞きたかった。

◆テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ 番組審議

『ロコ・ソラーレ徹底解析！選手たちが強さを解説！&東大出身カーラー岩永直樹が読み解く』◆

<番組内容>

2018年平昌五輪でこの競技日本初のメダルを獲得した女子日本代表ロコ・ソラーレ。

本番組ではロコ・ソラーレの強さの秘訣を長時間特集。東大出身カーラー岩永直樹氏の的確な読み解きとリモートによる選手達への長時間インタビューにより、ロコ・ソラーレの強さの秘密を分かりやすく解析すると共に本人達の意外な素顔も明らかにしていきます。またチームの知られざる誕生秘話や北京五輪に向かう現在までをドキュメンタリーパートで紹介します。

コロナウィルスによりカーリング大会の中止が相次ぐ中、いままでになかった形でカーリン

グの奥深さを伝える事が出来ればと思い企画しました。ピンマイクを通して試合中に彼女たちが何をしゃべっているのかに迫り、異色の東大出身カーラー岩永氏の分かりやすい解析のもと、これまで高度過ぎて制作者として触れられなかった選手達のコミュニケーションの部分に踏み込みました。

普段は忙しい彼女たちが1時間30分にも及ぶインタビューに快く答えてくれたのもリモートならではの事で良かったかと思います。またトリノオリンピックから14年間取材し続けた膨大な量の素材をフル活用したドキュメンタリーパートも見どころです。

<委員からの意見>

- 本橋選手のチームを立上げの思いや他の選手が加入した経緯はドラマティックで特に見応えがあった。つくり込みが丁寧で、ロコ・ソラーレのことがよく判った。
- 「コミュニケーションの量と質」に焦点をあてた構成が競技の大事な側面を浮き彫りにしていた。
- 各選手の挫折や移籍に伴う事情が、本人のコメントとファクトだけの抑制された表現で伝えられて好感が持てた。
- 番組として一般視聴者も十分に楽しめ、マニアックさと間口の広さのバランスが絶妙だった。
- カーリングが「北見のシンボル」となるまでの足跡が関係者の思い出話、貴重な映像で紹介され長時間の番組にもかかわらず、飽きずに楽しむことができた。
- チームの歴史、メンバーのキャラクター、地元愛、勝負、などすべてが紹介されており、感動がよみがえった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた2020年9月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めています。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

2020年10月以降に、ホームページに審議会概要を掲載ともに、放送番組としても公表する予定です。

8. その他の参考事項

次回の放送番組審議会は2021年3月に開催予定。

以上